

腎臓内科・リウマチ科の取り組み

腎臓内科・リウマチ科 副部長 山本 真理

腎臓内科・リウマチ科は、現在スタッフ10名、専攻医3名で活動しています。どの医師も両方の科を兼任して働いています。それぞれの科の役割についてご紹介します。

●腎臓内科

腎臓は、体内の余分な水分やゴミを尿として体外に出す大切な役割を担っています。腎不全が進行したときに必要な治療が透析や移植という腎代替療法です。当科では、腎機能・尿検査異常を指摘された健診後のフォローや腎炎・腎不全診療のほか、血液透析や腹膜透析管理を行なっております。腎臓移植を希望される方には適切な医療機関をご紹介します。腎臓移植までのサポートを行います。腎不全患者さんの治療はもちろんですが、腎不全予防の指導も重要と考えております。10月には患者さん向けの腎臓病教室を数年ぶりに開催しました。早期から

の適切な腎不全管理・予防を目指しています。

●リウマチ科(膠原病科)

膠原病は多くの臓器に炎症が起こる全身病です。関節炎や不明熱などから病気を診断し、どこの臓器に炎症が起きているかを見極め、患者さん毎にあった治療法を探します。膠原病の中には「難病」と言われる病気も多く含まれます。そのような病気の方でも適切な医療を提供することで、仕事・結婚・出産など日常生活を安心して過ごせるようサポートさせていただくのが私たちの役目です。また、当科は感染症診療にも重きを置いて活動しています。

どちらの科も、各臓器の専門科や開業医さんと密に連携をとりながら患者さんの全身管理を行うことを大切に考えています。気になる方はお気軽にお越しください。





ICTが変える 糖尿病診療のUpdate

糖尿病・内分泌内科部長 中島 英太郎

よく知られていることですが、糖尿病の治療で一番大事なことは、生活習慣を整えることです。2型糖尿病では、食事と運動療法が治療の基本となります。そのため患者さんの日常生活がどうなっているのを知ることが患者さん自身の自己管理と医師の治療方針決定にとっても重要です。そこで当院では、ICTを活用しています。患者さんのスマートフォンにPHR(personal health record)アプリ「シンクヘルス®」を入れていただき日々の診療に活用しています。この無料健康アプリには、血糖、血圧、体重、内服歴、インスリン注射時間と量、食事記録、歩数などが自動入力で、あるいは手入力で記録

されます。受診時にはこのデータを、医師、管理栄養士、看護師含め多職種チームがPCで見ながら患者さんの色々な相談に乗ることが可能となります。個々に異なる患者さんの病状、体質、生活環境、仕事との兼ね合いに配慮して、患者さんと相談しながら治療を進めていく取り組みは、私たち病院のスタッフと患者さんの共同作業となります。こうしたアプリは、我々医療者が患者さんの糖尿病治療に伴走していくための大切なツールとなっています。HbA1c値の目標を達成の一助として是非試してみてください。詳しくは糖尿病外来スタッフまでお願いします。

当院原田副院长が消防署から感謝状を贈呈されました

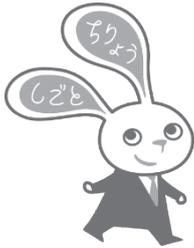
令和6年6月22日（土）午後6時35分、豊橋総合スポーツ公園でサッカーの試合中に心肺停止となった選手に対し、救命活動を行った当院、原田憲副院长（兼循環器内科部長）が、令和6年7月28日（日）、豊橋市消防本部より消防協力者感謝状を贈呈されました。



治療と仕事の両立を支援しています！

治療と仕事の両立支援相談窓口のご案内

治療を受けながら、安心して仕事を続けることができるようにMSW等が全ての疾患の患者さんの相談に応じています



こんな悩みはありませんか？



- ・病気でも仕事は続けられるのだろうか？
- ・仕事を休んだら、生活費や医療費はどうすればいい？
- ・職場に病気のことをどう説明すればいいかわからない
- ・働き方についての詳しい診断書がほしい
- ・これからの治療、生活や仕事のことで不安がいっぱい

【治療と仕事の両立支援相談窓口】

メディカルサポートセンター内

相談は無料

【相談時間】

月～金曜日（土・日・祝日を除く）

8：15～17：00まで

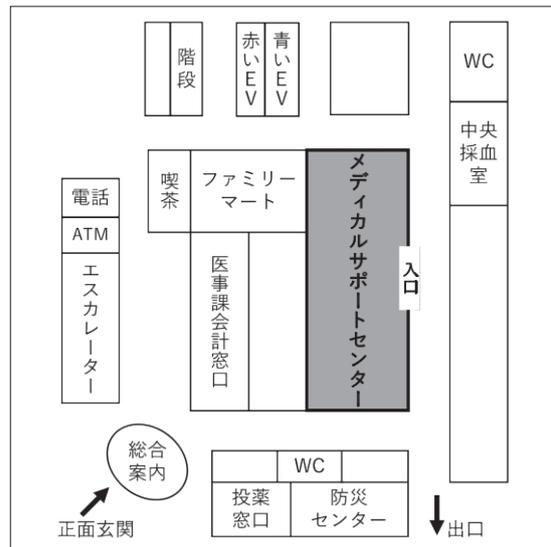
TEL：052-652-5511(代)

※ご予約いただきますとお待たせせず

にご相談をお受けできます

※心理的なご相談には心理士が対応できます

【院内案内図 1階】



※働き方についての課題整理や職場との調整・職場関係者との具体的な働き方のご相談（両立支援プラン）の助言等については、愛知産業保健総合支援センターに直接お問い合わせください。

（TEL 052-950-5375）保健師・社会保険労務士による相談あり。

『栄養の日』イベントを開催しました

栄養の重要性と病院管理栄養士の職能を知ってもらうことを目的に、患者さんへ「栄養の楽しみ方」を伝え、栄養に親しんでもらう「栄養の日」を、令和6年8月1日に当院ホスピタルプラザで開催しました。今年のテーマは「消化は口から」。お口の中の健康チェック、ふくらはぎの筋肉量を測定し、その結果を元に健康になる秘訣をお伝えしました。参加した400名の患者さんには、栄養の本とキウイフルーツを配布し、ご好評をいただきました。



腎臓病教室を開催しました

令和6年10月8日に、当院2階講堂にて第17回腎臓病教室を開催しました。

当院在職の医師や看護師、医療専門職の講師による、腎臓病に関する様々な講演が約2時間に渡り行われ、ご好評をいただき終えることができました。



中部ろうさい病院からのお知らせ

中部ろうさい病院の
ホームページでは、症
状／疾患、部位から対



応する診療科を検索することができます。

各疾患について簡単な解説も載っており、自分の症状がどの疾患に関連するかを調べるのに大変便利です。是非ご活用ください。

https://chubuh.johas.go.jp/search_shikkan/

～ 編集後記 ～

数年前に「猫壁チャレンジ」なるものが流行りました。これは、抱き上げた猫を壁に近づけて、猫が壁を足でつっぱねたらその猫は頭がいい、というもの。科学的根拠は一切ありませんが、ちゃんと前足を差し出す猫もいれば、逆に抵抗なく壁に当たる猫もいて、その様が可愛いため動画サイトで数多く投稿されました。

編者は猫壁チャレンジを最近知り、当家の何匹かの猫に対しても実践してみました。が、そもそも抱きかかえられるのが大嫌いな猫ばかりで、結局チャレンジできた

のは1匹だけでした。ちなみにその猫は、家族の大方の予想に反し、ちゃんと前足を差し出しました。(T.M)

当院の理念

納得、安心、そして未来へ

当院の基本方針

- ・医療の質の向上と安全管理の徹底
- ・生命の尊厳の尊重と患者さん中心の医療
- ・人間性豊かな医療人の育成と倫理的医療の遂行
- ・地域社会との密な連携と信頼される病院の構築
- ・災害・救急医療への積極的な貢献と勤労者に相応しい高度医療の提供